

# Time Table タイムテーブル

★…ゲスト来場予定。  
開場は開演時間の15分前を予定。ほぼ毎回開始時間が変わります。ご注意ください!

※PFFアワード監督の来場予定およびゲスト来場の追加情報は随時HPで発表します。  
※やむを得ない事情により、プログラムおよび来場ゲストが変更になる場合がございます。  
※全プログラムとも、録画・録音機器、及びPCの会場への持ち込みは禁じられています。

	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	
9 14 [土]		10:30~ ★ PFFアワード A 「カワツヒロアキ君、はい!」 「愛のはずみ」		13:20~ ★ PFFアワード B 「疾走ラブレター」 「それからの子供」		15:00~ 素晴らしい特撮の世界 追悼・レイ・ハリイ・ハウゼン 「シンドバッド7回目の航海」 The Voyage of Sinbad		17:00~ ★ 連続講座 「映画監督になる5つの方法」 ~日本在住の外国人監督 「A2-B-C」 イアン・トーマス・アッシュ監督		19:30~ ★ 連続講座 「映画監督になる5つの方法」 ~自主制作体制を極める 群青いる13「あした家族」 廣末哲万監督				
15 [日]		10:30~ ★ PFFアワード A 「カワツヒロアキ君、はい!」 「愛のはずみ」		13:20~ ★ PFFアワード B 「疾走ラブレター」 「それからの子供」		15:45~ ★ PFFアワード C 「His Eye Is On The Sparrow」 「女鳥」		18:15~ ★ PFFアワード D 「夜とケイゴカー」 「震動」		21:00~ ★ 連続講座 「映画監督になる5つの方法」 ~日本在住の外国人監督 「佐渡テンペスト SADO TEMPEST」 ジョン・ウィリアムズ監督				
16 [月祝]		10:30~ ★ PFFアワード E 「Living with the Dead」 「踊ってみせろ」		13:15~ ★ PFFアワード F 「LONG RIVER FRIEND」 「山守クリップ工場の辺り」		15:50~ ★ PFFアワード G 「いたいのいたいのとんでいけ」 「きみの信じる神様なんて 本当にいるの?」		18:30~ ★ PFFアワード H 「トータスと私」 「夜の法則」		21:15~ ★ 連続講座 「映画監督になる5つの方法」 ~配信という方法 「不気味なものの肌に触れる」 濱口竜介監督				
17 [火]		10:30~ ★ PFFアワード D 「夜とケイゴカー」 「震動」		13:30~ ★ PFFアワード A 「カワツヒロアキ君、はい!」 「愛のはずみ」		16:30~ ★ PFFアワード E 「Living with the Dead」 「踊ってみせろ」		19:15~ ★ 連続講座「映画監督になる5つの方法」 200万と500万と~低予算映画のつくりかた 「サンライズ・サンセット」 「ゼンタイ」(短編版) 橋口亮輔監督						
18 [水]		10:30~ ★ PFFアワード G 「いたいのいたいのとんでいけ」 「きみの信じる神様なんて 本当にいるの?」		13:20~ ★ PFFアワード F 「LONG RIVER FRIEND」 「山守クリップ工場の辺り」		15:55~ ★ PFFアワード H 「トータスと私」 「夜の法則」		18:45~ 素晴らしい特撮の世界 追悼・レイ・ハリイ・ハウゼン 「アルゴ探検隊の大冒険」 Jason and the Argonauts		21:00~ 素晴らしい特撮の世界 追悼・レイ・ハリイ・ハウゼン 「タイタンの戦い」 Clash of the Titan				
19 [木]		10:30~ ★ PFFアワード B 「疾走ラブレター」 「それからの子供」		13:00~ ★ PFFアワード C 「His Eye Is On The Sparrow」 「女鳥」		15:45~ ★ 連続講座 「映画監督になる5つの方法」 ~中国在住の日本人監督 「黒い四角」(黒四角) 奥原浩志監督		19:15~ ★ 連続講座 「映画監督になる5つの方法」 ~中国在住の日本人監督 「卵と石」(鶏蛋と石頭) ホアン・ジエ&大塚竜治監督		特別贈送 「中国の映画制作現状」 市山尚 三プロデューサー 大塚竜治監督&撮影監督 奥原浩志監督				
20 [金]	お問い合わせ:PFF事務局 03-5774-5296(平日10:00~18:00) http://pff.jp													
	PFFアワード2013 表彰式&グランプリ作品上映													

## Ticket

入場料一覧

前売券はチケットびあでのみ発売です。

第35回 PFF 検索

f PiaFilmFestival

🐦 @pff\_award

### シネフイント

東京都渋谷区宇田川町14-5  
渋谷バルコ パート3・8F  
●JRはか渋谷駅から徒歩7分



### コンペティション部門

#### ▶「PFFアワード2013」チケット

#### ▶表彰式&グランプリ作品上映 専用チケット

前売券▶1回券(座席指定) [Pコード:551-640]: 1,000円  
アワードフリーパス [Pコード:465-015]: 6,000円  
※フリーパスは、限定20枚/表彰式使用可  
※フリーパスは、座席指定券との引き換えが必要となります。引き換えは、上映当日のオープン時よりシネフイント窓口にて行います。満席の場合は、ご鑑賞いただけない場合がございます。  
当日券(座席指定)▶1回券: 1,200円/学生券: 800円

### 招待作品部門

#### ▶「素晴らしい特撮の世界」

#### ▶連続講座「映画監督になる5つの方法」

前売券(座席指定)▶1回券 [Pコード:551-641]: 1,300円  
当日券(座席指定)▶1回券: 1,500円/学生券: 1,200円

### [前売券の購入方法]

- ※シネフイント窓口での販売はございません。
- お近くのチケットびあのお店で直接購入
- サークルK・サンクス、セブンイレブンにて直接購入
- インターネットにて購入 <http://t.pia.jp/cinema/>
- チケットびあにて電話予約後、びあのお店、サークルK・サンクス、セブンイレブンで受け取り
- チケットびあ音声認識予約: 0570-02-9999 [pia.jp/t](http://pia.jp/t)
- ※びあステーション・スポットでご購入の場合、ご希望の座席を指定することができます。

### [注意事項]

- 前売券の電話予約は各上映日の6日前まで、直接購入は各上映日の3日前までとなります。
- 前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。
- チケットびあ、サークルK・サンクス、セブンイレブンの店舗で直接購入する場合、発券手数料の105円/枚がかかります。
- インターネット、電話予約にて購入された場合、発券手数料およびシステム使用料として、315円/枚がかかります。
- 当日学生券の購入時は、学生証の提示が必要です。

# 35th PFF / PIA FILM FESTIVAL

## 第35回



第35回を記念して、シネフイントで開催するPFF。  
多くのクリエイターの情熱に触れる1週間に、是非ご参加ください!  
渋谷で会おう

# ぴあフィルムフェスティバル

2013.9.14 [sat] - 20 [fri] シネフイント

渋谷バルコ パート3・8F

主催: PFFパートナーズ **ぴあ** ホリプロ **N** / UNIJAPAN 公益財団法人ユニジャパン  
特別助成: **ESCA** 一般社団法人 映画演劇文化協会  
特別協賛: **SEGA-SAMMY GROUP**  
特別協力: **PARCO**  
後援: 一般社団法人 日本映画製作者連盟 / NPO法人 映像産業振興機構 (VIPO) / 協同組合 日本映画監督協会 協力: 早稲田大学 / **J-WAVE** 81.3 FM  
<http://pff.jp/35th/> **CoFesta**

# 【コンペティション部門】 PFFアワード2013

本年「PFFアワード2013」には、511作品の応募をいただきました。4か月の審査期間を経て厳選された16作品から、あなたのための1作品に遭遇してください。21世紀の自主映画、驚くほどのエンターテインメントです。

 表彰式&グランプリ作品上映 ▶9月20日[金]16:30~

**PFF Award A** 『カワツヒロアキ君、はい!』 45分/カラー

監督 河津宏亮 (22歳/熊本県)

情けない親父に絶望した夜、俺は愛されていたことを知る

父の借金が原因で両親が離婚!?青年はカメラを手に帰省し、姿をくらました父親を探し出して詰問するもラチがあかない。そのとき、奇跡のように、大切な記憶が現れ2人は…

▶9/15[日] 10:30~  
▶9/17[火] 13:30~

**PFF Award E** 『愛のはずみ』 78分/カラー

監督 佐藤悠玄 (22歳/東京都)

家族崩壊に怒りを秘めた少女の表情が物語をスリリングに牽引

少年院から出た少女は或る男の居場所を突き止め尾行を始める。驚くべき大胆さで近づく少女を戸惑いながら受け入れる男。そこには少女だけが抱える残酷な真実が秘されていた。

▶9/16[月] 10:30~  
▶9/17[火] 16:30~

**PFF Award B** 『疾走ラブレター』 6分/カラー

監督 山本圭祐 (21歳/埼玉県)

教室から飛び出した男子たちのアドレナリン、炸裂

走り出した恋心はもう止められない! 純朴高校男児たちの心躍る時間の先に待ちうける夕陽に涙が滲み、青の時代を通過したすべての男性諸氏の記憶の扉がノックされる!

▶9/15[日] 13:20~  
▶9/19[木] 10:30~

**PFF Award F** 『LONG RIVER FRIEND』 10分/カラー

監督 荒井周士 (21歳/茨城県)

「僕のどこがイヤ?」と聞いたら、愛しの彼女は「髪」と言った

長髪同盟を破り、髪を切る事を決意した高校男子の、ささやかな成長譚。とぼけた人間たちが、ふと見せる笑み、困惑、怒り、そして涙。くせになりそうなオブティコメディ。

▶9/16[月] 13:15~  
▶9/18[水] 13:20~

**PFF Award C** 『His Eye Is On The Sparrow』 26分/カラー

監督 田島山深 (22歳/東京都)

理解者がひとりもいなくても、私は人間を肯定する

森で人知れず歌われる美しい歌。勝手に放置された謎の立て看板。「お願いされずに」存在するアートたち、を見つめる人達、見つめて、表現の喜びと不確かさへの愛が輝く。

▶9/15[日] 15:45~  
▶9/19[木] 13:00~

**PFF Award G** 『いたいいたいのとんでいけ』 30分/カラー

監督 朴 美和 (27歳/東京都)

両親の不仲に小さな心を痛める幼女。私にできることは何?

小学1年生の加奈はどんな傷もバンドエイドで治せると知る。子供が主役のスイートな仕立てながら、中身はビター。加奈ちゃんの表情七変化は、心の傷に効く唯一の万能薬だ。

▶9/16[月] 15:50~  
▶9/18[水] 10:30~

**PFF Award D** 『夜とケイゴカー』 45分/カラー

監督 市川悠輔 (27歳/山形県)

身勝手な男友の運転で幕開ける悪夢のドライブ

イッチーとケイコは車に乗って田舎道を走る。一回死んでも蘇り、虚構と現実の境も壊し、イッチーとケイコは走る走る。これぞテン年代のロードムービー!田舎ですごい。

▶9/15[日] 18:15~  
▶9/17[火] 10:30~

**PFF Award H** 『トータスと私』 52分/カラー

監督 川喜田茉莉 (22歳/神奈川県)

電柱と会話する素敵な空想癖をいつまでも

行方不明のリクガメを探す少女とふたりの少年。風変わりな大人たちとの出会いを通じて、ゆとりとしたリクガメの動きのような、子供だけが感じる時間の流れが浮かびあがる。

▶9/16[月] 18:30~  
▶9/18[水] 15:55~

## PFFアワード2013各賞

グランプリ (副賞100万円)、準グランプリ (副賞20万円)、審査員特別賞 (副賞10万円/3作品)、映画ファン賞 (びあ映画生活賞)、エンターテインメント賞 (ホリプロ賞)、ジェムストーン賞 (白活賞)

特別設置: 日本映画ベンクラブ賞 ※各賞とも豪華副賞

最終審査員5名は決定次第、公式サイトにて発表します。

第35回 PFF 検索

※監督の年齢は応募時のものです。 ※地名は出身地です。 ※上映後、来場監督とのトークを予定しています。

グランプリ作品は、第26回東京国際映画祭「日本映画スプラッシュ」部門にて招待上映されます。

**PFF Award E** 『Living with the Dead』 49分/カラー

監督 富樫 渉 (28歳/埼玉県)

ハイチ発の新型ウイルスにより増殖したゾンビを「飼って」みる

街にゾンビが溢れる生活を、日常的な視点でディテールたっぷり描く。非アクション指向の正当派ゾンビ映画。生も死も美感に欠く現代、主人公はゾンビを自宅に招き入れる。

▶9/16[月] 10:30~  
▶9/17[火] 16:30~

**PFF Award E** 『踊ってみせろ』 63分/カラー

監督 伊藤裕満 (36歳/新潟県)

周りの人間すべてが許せない。無職男の虚勢と孤高の哀歌

30過ぎの男が孤独を超えどこかに至る時間を、わずかなシーンで描く。臨場感溢れるやり取り、不意に口を出た言葉や沈黙が刺さり、それを的確に捉え映像設計も素晴らしい。

▶9/16[月] 10:30~  
▶9/17[火] 16:30~

**PFF Award F** 『LONG RIVER FRIEND』 10分/カラー

監督 荒井周士 (21歳/茨城県)

「僕のどこがイヤ?」と聞いたら、愛しの彼女は「髪」と言った

長髪同盟を破り、髪を切る事を決意した高校男子の、ささやかな成長譚。とぼけた人間たちが、ふと見せる笑み、困惑、怒り、そして涙。くせになりそうなオブティコメディ。

▶9/16[月] 13:15~  
▶9/18[水] 13:20~

**PFF Award F** 『山守クリップ工場の辺り』 99分/カラー

監督 池田 暁 (37歳/東京都)

得体の知れない人や出来事を受けとめる中年男に幸あれ

手作業でクリップを作る工場、見たこともない飲食物、いつかも不明な時代設定。独特の世界観で、淡々と生きる人々に起きる些細な出来事を描く、少しダークなファンタジー。

▶9/16[月] 13:15~  
▶9/18[水] 13:20~

**PFF Award G** 『いたいいたいのとんでいけ』 30分/カラー

監督 朴 美和 (27歳/東京都)

両親の不仲に小さな心を痛める幼女。私にできることは何?

小学1年生の加奈はどんな傷もバンドエイドで治せると知る。子供が主役のスイートな仕立てながら、中身はビター。加奈ちゃんの表情七変化は、心の傷に効く唯一の万能薬だ。

▶9/16[月] 15:50~  
▶9/18[水] 10:30~

**PFF Award G** 『きみの信じる神様なんて本当にいるの?』 87分/カラー

監督 猪狩裕子 (28歳/東京都)

狭小の世界に閉じ込められた少年少女は、手を伸ばして空を見る

不法滞在、ネグレクト、折檻、エアガン、アル中、紙飛行機、団地。戦場は、日本の私達のすぐ側にもある。生き残ろうとする少年と少女の束の間の交感を、透明な優しさで描く。

▶9/16[月] 15:50~  
▶9/18[水] 10:30~

**PFF Award H** 『トータスと私』 52分/カラー

監督 川喜田茉莉 (22歳/神奈川県)

電柱と会話する素敵な空想癖をいつまでも

行方不明のリクガメを探す少女とふたりの少年。風変わりな大人たちとの出会いを通じて、ゆとりとしたリクガメの動きのような、子供だけが感じる時間の流れが浮かびあがる。

▶9/16[月] 18:30~  
▶9/18[水] 15:55~

**PFF Award H** 『夜の法則』 64分/カラー

監督 山下洋助 (22歳/神奈川県)

気になる女子大生に魔の手が伸びる。無気力男が動き出す

冴えない警備員VS正体不明の通り魔。夜の都市で、見る、見られる、尾行する、が繰り返され、2人は近づいていく。積み重ねられたアクションが、臨界点を越え見事に炸裂。

▶9/16[月] 18:30~  
▶9/18[水] 15:55~

## 【招待作品部門】

これからの映画のための連続講座「映画監督になる5つの方法」企画で、現在そして未来の映画製作方法を紹介します。「素晴らしい特撮の世界」企画で、手と頭と心をフル回転させる特撮映画、つまり「映画」づくりの尽きせぬ魅力を伝えます。

# Invited Works

### 連続講座

## 「映画監督になる5つの方法」

映画をつくり続けるための様々な方法があります。講座形式のプログラムでは、5つのケースを取り上げました。作品の上映にあわせ監督やプロデューサーをお招きし、実現への道程や、秘訣を伺います。

### ～配信という方法

▶9/16[月] 21:15~

**『不気味なものの肌に触れる』**

2013年/53分/カラー

監督:濱口竜介 ★プロデューサーと監督の対談を予定

カップル、友人、兄弟、それぞれの関係に不穏な空気を選んでくる千尋=染谷将太が「ときめきに死す」の沢田研二にみえてくる。



### ～自主制作体制を極める

▶9/14[土] 19:30~

**群青いろ13『あした家族』**

2013年/90分(予定)/カラー

監督&原案:廣末哲夫 ★来場予定

「家族はみんなもともと他人。だからこそ優しくなれるのでは?」真摯なテーマが胸を打つ映像ユニット「群青いろ」最新作。



### ～日本在住の外国人監督

▶9/14[土] 17:00~

**『A2-B-C』**

2013年/71分/カラー

監督&撮影:イアン・トーマス・アッシュ ★来場予定

不思議なタイトルは、子供たちの甲状腺の検査結果をあらわす記号。福島に通うアッシュ監督が記録してきた子供たちの声。



▶9/15[日] 21:00~

**『佐渡テンペスト SADO TEMPEST』**

2013年/94分/カラー

監督&脚本:ジョン・ウィリアムズ ★来場予定

佐渡の持つ「何か」に魅せられ通う監督が生み出したのは、ロックの禁じられた未来を舞台にした、心震えるうたの物語だ。



### ～200万と500万と～低予算映画のつくりかた

▶9/17[火] 19:15~

**『サンライズ・サンセット』『ゼンタイ(短縮版)』**

監督:橋口亮輔 ★来場予定

橋口亮輔監督が、自身初体験の低予算ワークショップ映画制作を通して確認した、映画づくりの神髄とでもいう「何か」を講座形式で伝授。2つのワークショップ作品も上映する。



### ～中国在住の日本人監督

▶9/19[木] 15:45~

**『黒い四角』(黒四角)**

2012年/141分/カラー/北京語 日本語字幕付き

監督&脚本:奥原浩志 ★来場予定

北京郊外の芸術家村に住む画家チャオピンと、妹のリー・ホフは、上空に漂う謎の四角からやってきた男に何かを感じる。



▶9/19[木] 21:40頃~ \*『黒い四角』または『卵と石』入場者の方が参加できます。(入場無料)

**特別鼎談「中国の映画制作現状」** プロデューサー:市山尚三/監督&撮影監督:大塚竜治/監督:奥原浩志

ジャ・ジャンクー作品のプロデュースなどで知られる市山プロデューサーと、中国から来日する大塚&奥原両監督による鼎談。中国での映画の創り方がみえてくる。

▶9/19[木] 19:15~

**『卵と石』(鶏蛋和石頭)**

2012年/101分/カラー/中国湖南方言 日本語字幕付き

監督:ホアン・ジー/撮影:大塚竜治 ★来場予定

湖南省の田舎に住む14歳の少女ホンクイは、都会で働く親から、叔父の家に預けられもう7年。誰にも言えない秘密がある。



## 「素晴らしい特撮の世界」

——手仕事の楽しさ 手作りの映画

### ～追悼・レイ・ハリーハウゼン

本年5月に逝去した20世紀特撮の巨匠を追悼し、3作品を上映します。

▶9/18[水] 18:45~

**『アルゴ探検隊の大冒険』** (カラー作品)

Jason and the Argonauts

1963年/104分/カラー 日本語字幕投影

自他ともに認める代表作となった、ギリシャ神話をベースにした究極のファンタジー。骸骨戦士の戦いシーンは永遠の伝説だ。



### 『シンドバッド7回目の航海』(カラー作品)

The Voyage of Sinbad

1958年/88分/カラー 日本語字幕投影

ハリーハウゼンの「ダイナメーション」を世界に知らしめた大ヒット作。魅力的なクリーチャーが続々登場する冒険ファンタジー。



### 『タイタンの戦い』

Clash of the Titan

1981年/118分/カラー 日本語字幕投影

最後の作品となった、18年ぶりのギリシャ神話をベースにしたトップモーション溢れる壮大な冒険譚。CGなしの世界を堪能。



▶9/14[土] **特別講座:今、改めて特撮 企画中!** ※時間、ゲスト、内容等はHPで発表します。

日本が誇る特撮文化。それは自主映画のスピリッツとよく呼応する…

第35回を記念して、映像をつくる、つくりこむ喜びを映像とトークで次世代に伝える貴重なプログラムを計画中です。